

Course number		U-LAS02 20011 LJ36					
Course title (and course title in English)		日本語学文献講読論I Reading in the Document of Japanese Philology I			Instructor's name, job title, and department of affiliation		Graduate School of Human and Environmental Studies Professor,SANO HIROSHI
Group		Humanities and Social Sciences		Field(Classification)		Arts, Literature and Linguistics(Issues)	
Language of instruction		Japanese		Old group		Group A	Number of credits 2
Number of weekly time blocks		1	Class style		Lecture (Face-to-face course)		Year/semesters 2025・First semester
Days and periods		Tue.4		Target year		2nd year students or above	Eligible students For all majors
(Students of Faculty of Integrated Human Studies cannot take this course as liberal arts and general education course. Please register the course with your department.)							
[Overview and purpose of the course]							
日本語の歴史記述の方法について概説し、基礎的な日本語史研究の知識を身につけることを目的とする。最初に日本語史研究の課題を掲げて概説し、その課題についての資料や論考を講読する。							
[Course objectives]							
日本語史研究に関する基礎的な用語や問題点について、関連事項や関連作品とともに説明できること。							
[Course schedule and contents)]							
<p>本講義は、各時代語の実際と概説、後期は分野別の日本語史研究について扱う。日本語史研究には日本文学史の知識が必須であるから、その時代の文学史についても概説を行う。</p> <p>1 日本語史について（導入：1回） 2 上代語概説・上代文学史（3回） 3 中古語概説・中古文学史（3回） 4 中世語概説・中世文学史（3回） 5 近世語概説・近世文学史（4回）</p> <p>全14回で日本語史について概説を行う。概ね時代ごとに解説するが、音韻や文法など通時的に観察すべきことがらについては、そのトピックスで各時代にわたって概説することがある。</p>							
[Course requirements]							
日本語史についての基礎知識が必要になるので、言学、 を受講していることが望ましい。							
[Evaluation methods and policy]							
講義期間の最終日に基礎的な事項の確認試験を行う（60％）。時折、講義中に小テストを行うほか、授業への積極的な参加度（40％）を総合的に加味して評価する。							

Continue to 日本語学文献講読論I(2)							

日本語学文献講読論I(2)

[Textbooks]

小野正弘他 『ケーススタディ日本語の歴史』（おうふう）ISBN:4273032678（テキストだけでは不足するので、プリントも併用する。）

[References, etc.]

（References, etc.）

Introduced during class

[Study outside of class (preparation and review)]

前期は主として日本語史の枠組みと各時代の特徴を述べるが、プリントを配付して、課題を出す。課題に取り組む形で復習と予習ができるようにする。

[Other information (office hours, etc.)]

木曜日4限をオフィスアワーにあてる。会議等で不在の場合もあるから必ず事前に確認すること。

[Essential courses]